議会だより さんのへ

Facebook

Twitter

第185号（令和２年８月11日号）

P2 …… 気になる案件のその後
P3 …… 一般質問（4議員）
P5 …… 議決結果一覧
P7 …… 請願陳情審査結果
P8 …… 議員活動レポート

新型コロナ禍での6月議会

町長はじめ理事者側も全員マスクを着用しました。

議員もマスクを着用し、一般質問も自席で行いました。

水分補給のための水、お茶の持ち込みを許可しました。

町民の皆さまへのお知らせ

政治家は、選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、暑中見舞状などの時候のあいさつ状（電報なども含まれる）を出すことは禁止されています。（公選法第 147 条の 2）

気になる案件のその後

～関根ふれあい公園の屋根付きスペース～

引退した11ぴきのねこラッピングバスが設置され、休憩スペースになりました。

関根ふれあい公園には、屋根のついた休憩スペースがなく、特に夏場の猛暑のなか、公園で遊ぶ子どもたちや、それを見守る保護者らの健康を心配する意見が、議会でも何度か取り上げられました。

このことについて、３月定例会の一般質問で、千葉有子議員が次のように質問を行い、町長が答弁しました。

千葉有子 議員

Q. 関根ふれあい公園には直射日光を避けたり、雨宿りしたりするところがありません。既存の椅子のところでもいいですし、ひさしのあるあずまやのような屋根のあるスペースを設けていただきたいが、いかがでしょうか。

松尾町長答弁

A. 関根ふれあい公園における、日よけや雨宿りができるスペースの設置ができないかについてでありますが、これまでもさまざまな形での要望があり、どのような形で設置すればよいか、相乗効果が見込めるものがあるかなど検討してきた。

このスペース確保につきましては、岩手県北バスからラッピングバスの車両を譲り受け、整備し、活用する方向で計画をしているところであり、かかる経費につきましては、新年度予算へ計上している。

その後の町の対応

【引退ラッピングバスの設置】

町では車両の老朽化などによって引退したラッピングバス２台の整備を迅速に実施し、５月中旬に関根ふれあい公園と図書館脇に設置しました。

バスの中は改装され、より快適に利用できるようになり、７月21日には三戸保育園の園児等を招いてオープンセレモニーが行われました。

中で楽しむ三戸保育園の園児たち

セレモニーでのテープカットのようす

図書館のバス

ふれあい公園のバス

一般質問

千葉（ちば） 有子（ゆうこ） 議員

Q1 子育て世代包括支援センターの現況について

今年度予定されている「子育て世代包括支援センター」の設置について伺います。

①どのような体制での設置か。また、子育て世代への周知や、利用しやすい工夫はあるか。

②自粛期間中、新型コロナウイルス感染症（以下全ページで「新型コロナ」と略します）に不安を抱いている妊産婦への指導や寄り添いはどう行ったか。電話相談窓口等を設け、周知したのか。また、県をまたいでの移動の自粛により、里帰り出産ができなくなった、親が当町へ来られなくなった、配偶者が単身赴任中でいないなど、不安な状況になった方はいなかったか。

③新型コロナ感染防止のため、当町では乳幼児健診の中止や延期があったのか。

④12月議会で他の議員が管理栄養士の活用を提案し、町長は「検討する必要がある」と答弁したが、検討したか。

A 松尾町長

①保健センター内に相談室を新設する。親しまれるよう、愛称の公募などをとおして周知する。

②4月に全妊婦にマスクを配布し、同封したリーフレットで相談窓口を周知した。緊急事態措置下で影響を受けた方はない。

③8月までに予定されていた検診は延期とし、これを全対象家庭に保健師が説明し、心配事があれば個別対応している。9月以降は状況に応じて対応する。

④現在三戸中央病院の栄養士が産休中のため1名新たに採用したことから、条件が整い次第1名配置換えし、専門職の視点に立った保健事業を行う。

※このほか、児童・生徒の教育環境と取り組みについて、主に休校による影響とGIGAスクール事業の内容について質問しました。

久慈（くじ） 聡（さとし） 議員

Q1 ウイルス感染症対策について

町の新型コロナ対策本部の行動計画には、いざ発生した場合の福祉施設利用者に対するサービス継続対策等が明記されていないことから、福祉サービスを受けている独居高齢者、障害者、生活困窮者の受け入れ等を含めた支援等について質問します。

①社会福祉協議会のヘルパーが感染した場合。

②民間の高齢者福祉施設や、障害者福祉施設職員が感染した場合。

③児童福祉施設等の職員や支援員が感染した場合。

④民生委員が感染した場合。

⑤施設支援員への補償や給付等支援。

A 松尾町長

①②町内福祉施設において、職員の感染により事業継続が困難となっても、サービスが継続できるよう、各施設の事業継続計画（BCP）の作成を促し、関係機関と協力していく。

③保育所や放課後児童クラブ等は状況に応じ保育縮小や休園となるが、保護者の事情で保育が必要な場合もあるため、保育確保のため各園長と協議を行っている。

④全国連合会からの通知に従い、感染予防のためできるだけメールや電話で活動していただいているが、感染した場合は、ほのぼの交流員や町内会などの協力を得て見守りや支援を行う。

⑤国の第2次補正予算で新型コロナ緊急包括支援交付金を拡充し、介護・障害福祉施設職員への慰労金の給付が検討されている。今後も国の動向を注視し、町ができる対策を講じる。

まとめ

町として情報共有、人材確保・派遣に関し、医療、児童、老人、障害者など個別ではなく、総合福祉系のDCAT（災害派遣福祉チーム）的な連携チームを構築すべきである。組織やルール作りは難しいが、地域の安心・安全のため前向きに検討してほしい。

一般質問

栗谷川柳子（くりやがわりゅうこ）議員

Q1 移住促進を含めた関係人口戦略について

新型コロナの影響で、東京一極集中リスクの分散、移住促進等の関係人口戦略が進めやすくなっており、地方がよみがえるチャンスでもある。

アフターコロナ期にいち早く戦略を実行できるかどうかが町の将来を大きく左右するため、町も準備を進めていると思うが、「当町出身者」、「ふるさと納税を含む地場産品」、「観光」、「仕事」、「住まい・暮らし」の各分野で具体的にどんな戦略を立てているか質問します。

A 松尾町長

町も移住政策を強力に推進する機会と捉えている。

これまで移住定住促進のため新築・中古住宅の取得、増改築やリフォーム費用への助成、Uターン者への町の奨学金返還金助成などを実施し、今年度は移住者向けの補助を大幅に拡充した。

また、移住希望者が町の住環境を体験するお試し暮らし住宅や、テレワーク体験のお試しサテライトオフィスの設置などを全国に先駆けて実施した。

今後町の移住情報を効果的に訴求するため、11ぴきのねこのまちづくり、小中一貫教育などの特色ある事業をわかりやすく取りまとめ、効果的に発信する。さらにはホームページやSNSによる情報提供のほか、ふるさと納税リピーターや11ぴきのねこファンなど特定の方へダイレクトメールを送付するなど関係人口増加に取り組む。

再質問①

広報戦略にSNSを使って発信するとのことだが、現在あまり発信していないように見受けられるが、これから力を入れるということか。

A まちづくり推進課長

アフターコロナの前、新型コロナと共存するウィズコロナの現在でも提供できる情報が用意できている。随時状況を見ながらその時にあった情報を発信していきたい。

柳雫圭太（やなぎしずくけいた）議員

Q1 新型コロナに関する今後の取り組み・方向性について

緊急事態宣言の解除に伴い、新型コロナは収束傾向に向かっているように見える。WHO（世界保健機関）も日本の対策や状況を評価しつつ、同時に感染者の早期発見、追跡、治療、隔離については、継続の必要性、再発防止策の重要性を強調している。

そこで、今後「第2波」を想定した町側の対応や備えについて、また、現在行っている新型コロナに伴う継続的経済支援の、今後の方向性を示していただきたいが、どうお考えか質問します。

A 松尾町長

緊急事態宣言は解除になったが、感染リスクは身近に存在すると捉え、第2波、第3波に備える必要があるため、消毒剤200リットル、マスク6万枚確保したほか、これまでの手洗い、マスク着用、三密回避の継続と、国が唱える新しい生活様式の定着、感染予防ガイドラインの周知など予防対策に努める。

継続的経済支援の今後の方向性は、これまで第1弾として飲食店、酒類卸小売業、タクシー事業者への緊急支援金を40業者へ約1449万円を給付し、町内経済活性化と子育て世帯の負担軽減のため町民ひとり2千円、18歳以下の子どもひとり3千円の商品券を配布し、利用が進んでいる。

本定例会には第2弾として「きめ細かい医療提供体制等構築事業」「テイクアウト・配送支援事業」「プレミアム商品券発行事業費補助金」「三戸町学生支援事業」「インドア花いっぱい応援事業」「農作物次期作支援交付金」などの事業の補正予算を提案している。

町民の皆さまが共にこの厳しい局面を乗り越えられるよう、また新型コロナを契機に以前にも増して町の発展につながるよう取り組んでいきたい。

再質問①

「インドア花いっぱい応援事業」とは何か。

A 農林課長

新型コロナの影響で花の需要が激減していることから、町内の花を買い取るなどして役場等公共施設に設置し、花市場の活性化と花生産者の支援、そして花を飾ることでのストレスの緩和を図るもの。

議 決 結 果 一 覧

議案番号	件　名	議決月日	議決結果
報告 第４号	令和元年度三戸町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について 【概要】新葬祭場建設費負担金など６件についての繰越計算書の報告。		町長 報告済 （6月5日）
報告 第５号	令和元年度三戸町営簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について 【概要】杉沢簡易水道浄水場フェンス設置工事請負費の繰越計算書の報告。		町長 報告済 （6月5日）
議案 第６号	専決処分した事項の報告について（和解及び損害賠償の額を決定することについて） 【概要】三戸中央病院入院患者の医療事故に係る和解及び損害賠償額 18 万 9686 円の専決の報告。		町長 報告済 （6月5日）
議員提案 第１号	三戸町活性化対策特別委員会の設置について 【概要】少子高齢化などの課題や問題に関し、必要と思われる施策を調査研究する委員会の設置。	６月10日	原案可決 （全会一致）
議員提案 第２号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】新型コロナウイルス感染症対策支援の更なる充実を図るための、議員報酬５％の削減。	６月10日	原案可決 （全会一致）
報告 第７号	専決処分した事項の報告及びその承認を求めることについて （三戸町町税条例等の一部を改正する条例） 【概要】「ひとり親控除」が新設され、子を有する単身者が等しく控除が受けられることになったことのほか、固定資産税、たばこ税などの条例改正。	６月10日	原案承認 （全会一致）
報告 第８号	専決処分した事項の報告及びその承認を求めることについて （三戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例） 【概要】基礎課税額の課税限度額の引き上げと、低所得者の軽減範囲拡大のため算定基準額の改正。	６月10日	原案承認 （全会一致）
報告 第９号	専決処分した事項の報告及びその承認を求めることについて （三戸町町税条例の一部を改正する条例） 【概要】新型コロナウイル感染症緊急経済対策による、地方税法の一部改正に伴う町税条例の一部改正。	６月10日	原案承認 （全会一致）
報告 第 10 号	専決処分した事項の報告及びその承認を求めることについて （令和元年度三戸町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算〈第３号〉） 【概要】三戸中央病院に整備した電子カルテシステムの導入費用に交付金が交付されたことなどによる、歳入歳出それぞれ 4719 万円の増額。	６月10日	原案承認 （全会一致）
報告 第 11 号	専決処分した事項の報告及びその承認を求めることについて（令和元年度三戸町国民健康保険直診勘定三戸中央病院事業特別会計補正予算〈第５号〉） 【概要】報告第10号の交付金の交付により、企業債を減額し、国保特別会計負担金を増額したもの。	６月10日	原案承認 （全会一致）
報告 第 12 号	専決処分した事項の報告及びその承認を求めることについて （令和２年度三戸町一般会計補正予算〈第１号〉） 【概要】特別定額給付金ほか新型コロナウイルス感染症対策費10億5778万円の増額。	６月10日	原案承認 （全会一致）
議案 第 32 号	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した三戸町国民健康保険被保険者等に係る国民健康保険税の減免に関する条例の制定について 【概要】新型コロナウイルスにより大きな影響を受けた世帯の国保税の減免に必要な条例の制定。	６月10日	原案可決 （全会一致）
議案 第 33 号	三戸町特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】新型コロナウイルス感染症の影響をふまえ、町長20％、副町長・教育長10％の報酬削減。	６月10日	原案可決 （全会一致）

議決結果一覧（つづき）

議案番号	件　名	議決月日	議決結果
議案第34号	三戸中央病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案 【概要】病床数を103床から57床に縮小するための条例改正。	6月10日	原案可決（全会一致）
議案第35号	三戸町介護保険条例の一部を改正する条例案 【概要】低所得者の第1号保険料の軽減強化に関する国の法律改正に伴う条例の改正など。	6月10日	原案可決（全会一致）
議案第36号	三戸町人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて 【概要】任期を迎える根立朋子氏を引き続き委員の候補者とするもの。	6月10日	原案可決（全会一致）
議案第37号	三戸町人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて 【概要】千葉萬壽雄氏を新たに委員の候補者とするもの。	6月10日	原案可決（全会一致）
議案第38号	令和2年度三戸町一般会計補正予算（第2号） 【概要】GIGAスクール事業6012万円、新型コロナウイルス対策費7204万円など歳入歳出1億5525万円の増額。	6月10日	原案可決（全会一致）
議案第39号	令和2年度三戸町国民健康保険直診勘定三戸中央病院事業特別会計補正予算（第1号） 【概要】収益的収入・支出ともに717万円の増、新型コロナウイルス感染拡大防止のための資材購入のため資本的収入・支出ともに1067万円の増額。	6月10日	原案可決（全会一致）

議案審議

国の特別定額給付金等含め当初予算に10億円追加
～新型コロナウイルス感染症対策補正予算～

令和2年度三戸町一般会計補正予算（第1号）（専決報告）

町民ひとりにつき10万円の特別定額給付金、児童ひとりにつき1万円の子育て世代臨時給付金、次亜塩素酸水生成器購入、全世帯へのマスク10枚配布、町民ひとり2千円の緊急経済対策商品券交付、18歳以下の町民ひとり3千円分の子育て応援商品券交付、飲食店に1か月15万円の緊急支援金などの経費を専決処分したことの報告。

Q 栗谷川柳子議員

国は次亜塩素酸水について検証中であり、噴霧はしないよう注意を呼びかけている。

噴霧はしないと思うが国の見解を見て慎重に予算執行すべきではないか。

また次亜塩素酸水は劣化が早く、安定している次亜塩素酸ナトリウムの方が安価ではないか。

本当に中身のある医療機関になる取り組みをしてほしい。

A 総務課長

次亜塩素酸水の取り扱いについては国で検証中だが、大学等の研究機関では効果があるという発表もある。公的機関の結果で使用方法が決まってくるので経過を見守る。

三戸中央病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案

休床中の病床46床を縮小し、一般病床を103床から57床にするもの。縮小により診療報酬の増加と、国からの特別交付税算定対象額の増加が見込まれるもの。

Q 佐々木和志議員

三病については長年多くの議員から意見をいただいている中、医師の確保も進まず、病床も使われずに休んでいる。その中で縮小するのであれば、医師確保やスタッフの接遇など、指摘された問題に今まで以上に取り組むべき。

財政上のメリットだけでなく

A 松尾町長

今年度、次期経営改善計画を策定する予算を組んでいる。地域から本当に信頼される病院になるための計画となるよう、病院改革にこれからもご協力いただきたい。

三戸町人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

・任期を迎える根立朋子氏を引き続き候補者とするもの。

根立朋子 氏

・千葉萬壽雄氏を新たに候補者とするもの。

千葉萬壽雄 氏

【全会一致で可決】

請願 陳情 審査結果

請願とは？：国や地方公共団体に対してお願いをすること。日本国憲法でその権利を保障しており、議会が受理します。請願をする場合には請願を提出する議会の議員の紹介が必要です。

陳情とは？：請願同様、特定事項に利害のある住民が公共団体等に実情を訴え、適切な措置を求めるもの。法による保障はなく、紹介議員も必要ありませんが、住民の声として請願と同様に対応しています。

意見書とは？：法に基づき、地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を文書化したもので、これを国会や関係省庁などに提出します。

陳情第１号

「最低賃金の地域間格差を解消する全国一律最低賃金制度の実現と中小企業支援の拡充を求める陳情」

【陳情の要旨】

現在の最低賃金は東京が1,013円、青森県は790円と格差があり、貧困、若年労働者の流出、高齢化の進展、地域経済の疲弊の要因となっているため、全国一律最低賃金の実現と、それに合わせた中小企業への助成や融資の拡充を求める意見書を国へ提出してほしい。

【審査機関（民生商工常任委員会）の意見】

新型コロナウイルス感染症の影響で中小企業を取り巻く経済状況は非常に厳しく、いま大幅な賃上げを行うのは適当ではない。

【審査結果】不採択

陳情第２号

「日米地位協定の抜本的見直しを求める陳情」

【陳情の要旨】

1960年に結ばれた日米地位協定は、国会で十分審査されず、改正もされていない。三沢基地の米軍機は幾度となく事故を起こしており、県民の不安も広がっているため、抜本的な見直しを求める意見書を国へ提出してほしい。

【審査機関（総務文教常任委員会）の意見】

まず日米地位協定についての理解が必要であることから、次の議会まで熟考の上判断する。

【審査結果】継続審査

陳情第３号

「看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める陳情」

【陳情の要旨】

看護師は「低賃金・過重労働」により慢性的な人員不足が続いている。また同じ資格を有しながら、賃金の地域間格差も大きい。看護師賃金の底上げをはかり、安全・安心の医療・看護体制を確保するため、全国を適用対象とした看護師の最低賃金の新設を求める意見書を国へ提出してほしい。

【審査機関（民生商工常任委員会）の意見】

医療費はほとんどの国民が加入する健康保険で賄われており、それに地域間格差はない。看護師不足解消のためもっともな意見である。

【審査結果】採択（次の議会に意見書案提出）

陳情第４号

「介護従事者の全国を適用とした特定最賃の新設を求める陳情」

【陳情の要旨】

介護従事者の賃金は全産業労働者賃金より約８万円低く、「低賃金・過重労働」により深刻な人員不足が続いており、利用者の安全や介護の質に影響を及ぼしかねない。介護従事者の賃金の底上げをはかり、安全・安心の介護体制を確保するため、全国を適用対象とした介護従事者の最低賃金を新設することを求める意見書を国へ提出してほしい。

【審査機関（民生商工常任委員会）の意見】

介護保険に格差はないことから、陳情第３号と同様の理由により採択とすべきである。

【審査結果】採択（次の議会に意見書案提出）

議員活動レポート

令和2年度

二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会役員会

開催日　6月26日
場　所　二戸ロイヤルパレス
参加議員　竹原議長（幹事）、佐々木副議長（幹事）、久慈議員（監事）、藤原議員（幹事）

6月26日、二戸市にて令和2年度二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会役員会が開催され、役員となっている議員4名が出席しました。

会議では、8月に開催が予定されている総会に提出される案件である、令和元年度事業の報告と、令和2年度事業計画、令和元年度の協議会の決算および令和2年度の予算などについて事前審議を行いました。案件については全て原案のとおり決定されました。

今年度の協議会の研修会については、8月の総会時に「（仮称）南部が繋いだ浄法寺漆」と題し、二戸市浄法寺総合支所次長兼漆産業課長の姉帯敏美氏から講演していただく予定です。

議会改革の推進検討を議会運営委員会に諮問

6月23日、これまで取り組んできた議会改革関連事業の成果を確かなものにし、さらにこれを継続・発展させていくため、竹原議長が藤原議会運営委員長に「町民に開かれた議会」実現のために

①情報共有（議会情報のオープン化）
②住民参画（広聴の機会を設ける）
③機能強化（制度の改正や新設）

の3つの事項について諮問しました。

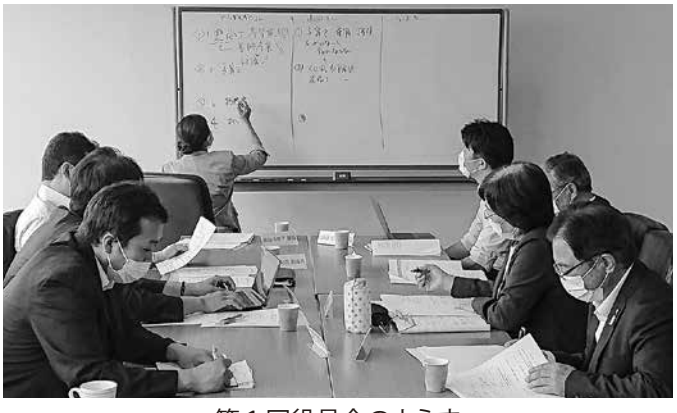
議会運営委員会では今後これをふまえ、3つの事項について先進自治体の取り組み等を参考にしながら、議会改革案の作成と実施を行っていきます。

藤原議運委員長へ諮問書を手渡す竹原議長

三戸町活性化対策特別委員会を設置

人口減少、少子高齢化が進む三戸町が抱える諸問題について、解決に必要と思われる施策を調査研究する「三戸町活性化対策特別委員会」が6月議会で設置されました。委員会は全議員によって構成され、委員長に栗谷川柳子議員、副委員長に山田将之議員が就任しました。

今後、この委員会では委員の意見や町民の意見を参考に、課題解決に向けて調査研究を行い、行政側へ提案していく予定です。



第1回役員会のようす

総務文教常任委員会

山田　将之・千葉　有子
小笠原君男・越後　貞男
佐々木和志

【調査事項】
消防団の管理運営状況について

5月31日、消防担当課職員、消防団幹部とともに、町内すべての消防団屯所を訪問し、老朽箇所の調査や要望事項の聞き取りを行いました。

【調査結果・まとめ】

山田委員長「各分団の消防屯所の修繕をはじめ、防火水槽、消防車両の冬タイヤ等の更新の要望が出されているが、特に年数が経過した屯所の建物状況、タイヤ等の劣化状態等を調査し、緊急性の高いものは早急に整備するとともに、その他についても計画的に要望にこたえるよう検討を。

また、人口減少等に伴い消防団員の確保が厳しい状況となり、活動の維持が厳しい分団もある。今後消防団活動に支障が生じないように、事前に組織運営の在り方について本格的な検討に着手していただき、町民の生命・財産を守り、生活の安全・安心の確保に努めていただきたい。」

民生商工常任委員会

藤原　文雄・栗谷川柳子
柳雫　圭太・乗上　健夫
竹原　義人

【調査事項】
商工観光関係団体及び施設の運営状況について

6月1日、三戸町商工会及び三戸町観光協会関係者を招き、新型コロナウイルス感染症による商工業者の現状や対策、観光イベントへの影響等について意見交換を行いました。

【主な調査結果・意見】

藤原委員長　「商工会、観光協会一体化し、相乗効果が見られる。またコロナ対策特に持続化給付金対応もしっかり行っている。」

栗谷川委員「商工会非会員へもアドバイスしていることを町から知らせてほしい。先が見とおせないので切れ目のない支援を。特に国の制度からぎりぎり漏れたが、経営が厳しい人は町が支援を」

全　委　員「SANNOWA、商工会、観光協会で良い連携を」、「コロナを機に新しいことにチャレンジを」、「会員減少しないよう対策を」。

建設農林常任委員会

久慈　聡・番屋　博光
和田　誠・澤田　道憲

【調査事項】
町道等の管理運営状況について

5月21日、町道、私道の舗装など要望があげられている場所や、災害復旧場所など9か所の現場を建設課職員とともに調査しました。

【主な調査結果・意見】

①**町道宇藤1号線**
数年前に拡幅しており、昨年は砂利補充済み。

②**大平地区街灯**
昨年5基設置済み。今後は町内会長の申請制による。

③**武士沢扨ヶ平椛ノ木線**（災害復旧工事完了報告）

④**田畑高間舘線外灯電線**
樹枝による電線たるみのため伐採要望であったが外灯を対面に移動済み。

⑤**行人沢私道**
私道のため舗装できない。砂利補修実施。

⑥**橋ノ下町道・私道**
入口は町道で奥は私道のため舗装が難しい。一部砂利補修実施。

⑦**桐萩地区町道・私道**
ほとんどが私道。町道以外は砂利補修実施。

⑧**町道雷平6号線**
拡幅のためには畑所有者と要交渉。砂利補修実施。

⑨**雷平地区私道**
拡幅には用地買収の必要あり。

さんのへ議会だより
■発行／青森県三戸町議会
■編集／三戸町議会広報編集委員会
〒039-0198 青森県三戸郡三戸町大字在府小路町43
■E-mail：gikai@town.sannohe.lg.jp
TEL.0179-20-1159 FAX.0179-20-1110
■令和２年８月

研修報告

7月9日、青森市で県下町村議会議員研修会が開催され、全議員14名が参加しました。その概要は次のとおりです。

○期日　令和2年7月9日
○場所　青森市　リンクモア平安閣市民ホール
○講師　政治評論家
　有馬　晴海　氏
○演題　これからの政局・政治展望
○内容

講師の有馬氏

安倍総理が総理となり目指していたのが憲法改正である。その憲法改正には衆参両議院で3分の2以上の議員が賛成し、国民の2分の1以上が賛成する必要がある。

しかしながら、世論調査を行うと、国民の半数以上は憲法改正に反対しており、改正への高いハードルとなっている。

そこで、国民から大きな支持を得るためには経済状況を良くすることが第一であると考えアベノミクスを行い、景気が上向いたものの、モリカケ問題や議員の不祥事等で、憲法改正議論がどんどん先延ばしになり、自民党総裁を3年延期し現在三期目でありその任期も来年までである。

三期で役目を終えるのか、それとも四期を目指すのかで今後の政局が変わってくる。

ひとつ目に考えられるのは、総理は自身の任期中にオリンピックを開催したいと考えていると思われるため、オリンピック前に解散総選挙を行い、オリンピックの終了後に総裁選を行って総裁の座を譲るケース。

二つ目に考えられるのは、今年の9月に解散総選挙を行い、オリンピックを行い、その後総裁選で総裁を譲るケース。しかしこれは新型コロナが落ち着かないと思われるため、可能性は低い。

もしも、オリンピックが中止という事態になれば、その時点で総理はやめるかもしれない。

国の財源も厳しく、少子高齢化もあって先行きが不安定な中、与野党ともに人材が不足している。自民党は先日の東京都知事選で、小池知事を倒せるような候補を出すこともできなかった。このような中アイディアを絞って経済を復興させていかなければならない。

リーダーには、コロナ対応で大きな評価を得た大阪府の吉村知事のようなカリスマ性が求められる。リーダーの意思表示ひとつで国民はついていくのである。

第489回 三戸町議会定例会（9月議会） 予定（全日 10:00 開始）

9月1日(火)	開会、町長による議案の提案理由の説明	9月5日(土)	休日のため休会
9月2日(水)	議案熟考のため休会	9月6日(日)	休日のため休会
9月3日(木)	一般質問	9月7日(月)	決算特別委員会
9月4日(金)	一般質問、議案審議・採決	9月8日(火)	決算特別委員会、本会議、閉会

※新型コロナウイルス感染予防のため、傍聴者数の制限、マスクの着用にご協力願います。

編集後記

新型コロナウイルス感染症で町民の心が揺らぐなか、医療や福祉施設、物流を担う方々、また生活必需品を提供してくれる方々など、それぞれの立場で、懸命に戦ってくれている全ての皆さまへ深く感謝申し上げます。

国や町でも対策支援を実施いたしましたが、まだ解決は見えず、今後も生活への影響が懸念されます。議会では、町民の皆さまの安全と安心を一番に考え、町政と協力し、解決に努力していきます。

6月議会では、議員全員による発議にて、活性化対策特別委員会を立ち上げました。三戸町活性化のための多種多様な分野・課題に関して議員一丸となり解決に取り組む所存ですので、皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

（久慈　聡）

三戸町議会広報編集委員会
委員長　山田将之
副委員長　久慈　聡
委員　栗谷川柳子
　藤原文雄
　佐々木和志
　竹原義人